

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 1 6 日	
石川県知事 馳 浩 殿	
提出者	
住 所 石川県鳳珠郡能登町字松波 2 9 字 7 8 番地の 2	
氏 名 株式会社 西中建設	
代表取締役 西中順治	
電話番号 0 7 6 8 - 7 2 - 1 1 0 0	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 西中建設
事業場の所在地	石川県鳳珠郡能登町字松波 2 9 字 7 8 番地の 2
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	0 6 総合工事業
②事業の規模	5 3 , 8 3 1 万円
③従業員数	2 2 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類・・・再生処理業者に委託して 再生砕石として再資源化 木くず・・・再生処理業者に委託して 木材チップとして再資源化 建設混合廃棄物・・・全量処理委託 廃プラスチック類・・・全量処理委託 廃石膏ボード・・・全量処理委託 金属くず・・・全量処理委託 紙くず・・・全量処理委託 繊維くず・・・全量処理委託 廃油・・・全量処理委託 ガラス、陶磁器くず・・・全量処理委託 水銀・・・全量処理委託 石綿含有産業廃棄物・・・全量処理委託 廃石綿等・・・全量処理委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <pre> graph TD A[代表取締役] --> B[土木部長] A --> C[経理部長] B <--> C B --> D[現場代理人] D <--> E[交付担当者 (保管・管理)] </pre> </div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1,778.90 t	328.11 t
	(これまでに実施した取組) 公共事業主体のため 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	500.00 t	30.00 t
	(今後実施する予定の取組) がれき類 → 確実に分類し再資源化 木くず → 確実に分類し再資源化		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類・木くずなど再利用が可能なものは 確実に分別を実施し再生処理業者に処理委託している		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状行っている分別，処理委託を継続的に実施する		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合廃棄物
	排 出 量	59.37 t	13.42 t
	(これまでに実施した取組) 金属くずは分別し有価物として処理 特定処理業者に全量処理委託		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合廃棄物
	排 出 量	3.00 t	3.00 t
	(今後実施する予定の取組) 少量もリサイクルできるように分別に努める		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンテナを利用して廃棄物が散乱しないようにしている		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンテナ数を増加して細かく分別できるようにする		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
② 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス、陶磁器くず	金属くず
	排 出 量	20.37 t	10.18 t
	(これまでに実施した取組) 金属くずは分別し有価物として処理 分別できない金属くずは全量処理委託 特定処理業者に全量処理委託		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス、陶磁器くず	金属くず
	排 出 量	1.00 t	2.00 t
	(今後実施する予定の取組) 現状行っている処理を継続実施する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特定の処理業者に依頼している		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状行っている処理を継続実施する		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
③ 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	石綿含有産業廃棄物
	排 出 量	4.35 t	2.60 t
	(これまでに実施した取組) 特定処理業者に全量処理委託		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	石綿含有産業廃棄物
	排 出 量	0.50 t	0.50 t
	(今後実施する予定の取組) 現状行っている処理を継続実施する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特定の処理業者に依頼している		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状行っている処理を継続実施する		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
④ 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	引火性廃油	汚泥
	排 出 量	0.77 t	0.28 t
	(これまでに実施した取組) 特定処理業者に全量処理委託		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	引火性廃油	汚泥
	排 出 量	0.50 t	0.10 t
	(今後実施する予定の取組) 現状行っている処理を継続実施する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特定の処理業者に依頼している		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状行っている処理を継続実施する		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 金属くずは分別し有価物として処理 特定処理業者に全量処理委託		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 少量でもリサイクルできるように分別に努める		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全 処 理 委 託 量	500.00 t	30.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	現状行っている処理を継続実施する		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合廃棄物
	全 処 理 委 託 量	59.37 t	13.42 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特定処理業者に全量処理委託		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	混合廃棄物
	全 処 理 委 託 量	3.00 t	3.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	現状行っている処理を継続実施する		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
② 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス、陶磁器くず	金属くず
	全 処 理 委 託 量	20.37 t	10.18 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特定処理業者に全量処理委託		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス、陶磁器くず	金属くず
	全 処 理 委 託 量	1.00 t	2.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	現状行っている処理を継続実施する		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
③ 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	石綿含有産業廃棄物
	全 処 理 委 託 量	4.35 t	2.60 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特定処理業者に全量処理委託		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	石綿含有産業廃棄物
	全 処 理 委 託 量	0.50 t	0.50 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	現状行っている処理を継続実施する		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
④ 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	引火性廃油	汚泥
	全 処 理 委 託 量	0.77 t	0.28 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特定処理業者に全量処理委託		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	引火性廃油	汚泥
	全 処 理 委 託 量	0.50 t	0.10 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 現状行っている処理を継続実施する		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。